

がわにし

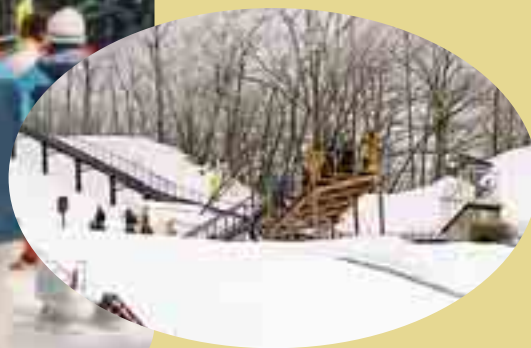
広報かわにし

No.547

平成16年3月10日



川西勢
国体で大活躍!



特集 雪とつきあうまちづくり…2

真剣に考えよう合併について…4

お寄せくださいあなたの意見・提案・質問…6

人口の動き

—3月1日現在—

男 3,974 (－2)

女 4,047 (－6)

計 8,021 (－8)

世帯数 2,273 (－3)

() は前月比較

特集 雪とつきあうまちづくり

当町をはじめ、近隣各地で雪まつりが開催されています。この地域の雪まつりは、雪像コンテストや雪上イベントを様々に組み合わせた、昼夜を通じて行う総合型の雪まつりが多いことが特徴となっています。

一方、他県でも一つの催しに特化した雪のイベントを実施しているところがあり、このほど、宮城県蔵王町でユニークな雪の催しを行っている各県の代表が集まって事例発表を行うシンポジウムが開催されました。その内容を紹介します。



発言する関口昌生さんと、右から小野、関口、佐藤、村上の各パネラーの皆さん

自然相手の遊びが大事

雪シンポジウム「寒さもへっちゃら、東北雪めぐり」と題した催しが行われたのは、寒が明けたとはいえ寒さが厳しい二月七日。宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉のホテルを会場に行われたこの催しには、山形、岩手、秋田、新潟、そして地元宮城の各県から様々な催しに取り組んでいる団体の代表が集まり、それぞれの活動の報告を行うとともに、互いに情報交換を

して交流を深めました。

このシンポジウムを主催したのは、開催地蔵王町の「元気の出る実行委員会」で、同会では、地域の自然や文化・伝統的な遊びを活用してふるさとへの誇りと自信を呼び覚まそうと、多彩な活動を展開しています。

事務局長の太田富造さん(46)は、「自然を相手に遊んだ経験があるのは、おそらくわれわれの世代が最後。そこから学んだことが人生に大きな影響を与えることから、今の子どもたちにも経験して欲しい」と、竹スキ

ー作りや熊なべ体験など、昔からの伝統文化を現代に生かす活動を展開中です。

この日の催しも、同会が主催し翌日開催された「竹スキー世界大会」との関連で実施されたもので、シンポジウムには、同町内外から約六〇人が参加しました。

雪の恵みは昔から

太田事務局長、大宮敦蔵王町長のあいさつの後、山形県新庄市「雪の里情報館」名誉館長の



昔からの人と雪との関わりを解説した大反義助さん



開催の趣旨を述べる太田富造さん

大友義助さんが、「雪国の人々の知恵」と題して基調講演を行いました。

高等学校校長のほか山形県立博物館の学芸員、新庄市史編さん室長などを歴任した大友さんは講演の中で、雪娘、マタギのスキーなど古くから伝わる雪の民話や雪の道具に秘められた人々の知恵や教訓のすばらしさを語りました。

また、越後縮や寒造りの酒、様々な漬け物や食品などが雪の恵みによって支えられていることや、現在脚光を浴びている雪室や雪冷房、雪ダムなどのシステムも昔からの人々の知恵の結晶だと語り、雪国の人々が古くから雪とうまくつきあってきたことを紹介して、集まった人たちの共感を誘いました。

三塁回りもある野球

続いてパネルディスカッションに移り、各県で活躍する四つの団体が活動報告を行いました。

まず、秋田県からは、秋田ふるさと塾事務局長・東由利おもしろくする会会長の小野克弘さん(51・秋田県由利郡東由利町)が、「雪上野球ワールド杯東由利大会」について報告しました。

報告の中で小野さんは、平成四年から開催している雪上野球大会が平成十四年から名称変更して現在の大会になったこと、県内在住の外国人が参加していることでようやく「ワールド杯」の名目を保っていること、マスコミに注目してもらえているような思い切った行動をしていることなどをユーモアを交えて披露しました。



大宮敦蔵王町長（手前）ほか、発表に聴き入る参加者

特に、「四球ではなく五球、死球はなし」や、「走者に送球が当たった場合もアウト」「走者は必ずヘッドスライディングをする。しない場合はアウト」「走者がいない場合、打者は一塁回りでも三塁回りでも選択できる」など、ユニークなルールを身振り手ぶりを交えて紹介すると、会場からは笑いがわき上がっていました。

このガタイを見て！

次に、新潟県からは、川西町のスノーボランティア夢雪隊事務局の関口昌生さん（26・中島町）が夢雪隊の活動について報告しました。



今年の夢雪隊の活動

ローズピンクの夢雪隊ユニフォームに身を包んだ関口さんは、阪神大震災へのボランティア参加が夢雪隊発足の切っ掛けになったことや、地域グループの横の連携が大勢の隊員確保の原動力になっていること、無接待で活動することの意義や、派手なユニフォームを着る理由、大人数で除雪をすることのメリットなどを、限られた時間の中で簡潔明瞭に紹介しました。

そして、「夢雪隊の目標は、夢雪隊がいらなくなる地域社会になること」と結び、会場には大きくうなづく人の姿が多く見られました。

質問コーナーでは、夢雪隊のことよりも魚沼米についての質問が寄せられ、ちよっととまとった関口さんでしたが、「このガタイ（体格）を見ていただければ、そのおいしさがわかります」と、会場を笑いの渦に巻き込んでいました。

国際大会五連覇中

また、岩手県からは、湯田町雪合戦協会事務局長の佐藤太郎さん（36・岩手県和賀郡湯田町役場）が、「ほっとゆだ北日本雪合戦大会」など雪合戦に取り組む地域の姿を紹介しました。

十年目を数える同大会の切っ掛けが上位大会である昭和新山国際雪合戦大会での優勝だったこと、以来国際大会では常に優勝をしていること、フィニッシュラン国際雪合戦大会で五連覇中であることなどが佐藤さんから報告されると、会場からは「おー」というどよめきがあがりました。

さらに佐藤さんは、「雪合戦は技術二割、戦術八割のゲーム。高いレベルを維持するには日々の鍛錬が欠かせません。今日もみんなが練習をしている中で一人ここに来ました。公式の雪合戦の玉はとても固く、以前あごに当たったときには、十日ほど流動食しか食べられませんでした」と、お遊び的な催しでなく、厳密なルールで行う大会の厳しさを披露しました。そして、「でも、これに取り組むようになって若者同士が交流する機会が増え、長い冬が短くすら感じ

られるようになりました」と、雪合戦によるまちづくりの効果を強調しました。

竹スキーと熊なべで

最後に宮城県からは、地元蔵王町の竹スキー世界大会主催者メンバーで竹スキー作り名人の村上貞一さん（61・蔵王町遠刈田温泉）が、竹スキーをとoshした活動を報告しました。

冒頭村上さんは、「シンポジウムに出るなんて初めてで、一週間前から寝られなかった」と心情を素直に話して爆笑を誘いました。

そして、平成九年から自分たちが子どもの頃に遊んだ篠竹を使った竹スキーづくりを子どもたちに教えたり、熊なべを食べさせたりしながらふるさとへの愛着を育んでもらおうと活動をしていること、名人といわれているが、実際は竹スキーづくりの試行錯誤で苦労したことなどを素朴に語りました。

シンポジウムの後、約一二〇人が参加して交流会が開催されました。

アトラクションでは、昨年十二月に結成されたばかりの地元小学生による勇壮な「遠刈田太鼓」が披露され、盛んな喝采を浴びていました。



交流会を盛り上げた子どもたちによる「遠刈田太鼓」

大事ななのは「自分たちでやる」こと

今回の催しに参加した各県の代表は、それぞれの工夫と熱意で雪とつきあい、まちづくりにつなげようとする地域の姿をわかりやすく伝えてくれました。

主催した蔵王町の実行委員の皆さんも、全員がホテルや旅館、商店、地元企業の経営者・従業員たちで、それぞれが提供できるところを持ち寄って手づくりで実施したものでした。

こうした、「誰かに頼るのではなく、自分たちでやる」という姿勢が、今一番求められている地域の姿といえるでしょう。

真剣に考えよう 合併について

29



町のスタンスは変わって
いません

広報かわにし 二月号本コーナーで、「合併に対して住民のコンセンサスが得られなかった市町村があり、その市町村から再度住民説明をする時間を設けたいとの申し出を受け、法定協議会の設立を三月に延期した」という記事を掲載しました。その後、皆さんも新聞や報道でご承知のような他町村での動きはありますが、あくまでも五市町村が揃って法定協議会に参加できることを目標としている町のスタンスは、現在も変わっていません。

地方制度調査会の 最終答申

今回は、住民懇談会の席でも話が出ていた「地方制度調査会答申」についてお話ししてみま

す。

地方制度調査会は、分権時代の新たな自治制度を検討する政府の諮問機関で、社会情勢の変化に対応した地方行財政のあり方を検討することを目的としており、今回が二十七次となります。その最終答申が十一月十三日に報告されました。

実質平成十八年三月末
がリミットか

注目された自治体改革では、▽自主的な市町村合併を推進する合併特例法の期限（平成十七年三月末）後、なお残る人口一万人未満の市町村に対して、都道府県が新たな合併構想をまとめ、合併協議会の設置や住民投票の実施も含めた勧告・あっせんを行う▽地域の住民自治を充実していくための「地域自治組織」創設などを提唱し、特例法

を引き継ぐ新法に反映するように求めています。

答申では、財政的な支援策を盛り込んだ現行の特例法が切れた後、財政支援措置は打ち切るものの、自主的な合併を促すための新法を制定し、更に一定期間、合併を促すとしています。

今期通常国会へ提出が予定されている新法では、合併特例債などの財政支援措置はとるべきではないとしながらも、期限切れまでに都道府県への合併申請を終えて、平成十八年三月末までに合併した場合は、現行の救済措置が受けられるようにすべきだとする救済案を打ち出しています。

地域自治組織は二タイプ

一方、合併すれば周辺地域が衰退するという小規模自治体の懸念に配慮し、自治体の判断で、旧市町村などを単位に「地域自治組織」を複数置くことができる、新たな制度を提唱しています。

地域共同的な事務を処理するとともに、住民自治を確保することを目的とし、▽法人格を有しない行政区のタイプ（一般制度）▽合併した場合に限り、合併後の一定期間、旧市町村単位に法人格を認めるタイプ（特別地方公共団体）の二つの類型が想定されています。

「地域自治組織」比較表

名 称	地域自治組織（行政区のタイプ）	地域自治組織（特別地方公共団体タイプ）
市町村合併との関連	合併にかかわらず、一般制度化する	合併後の一定期間、旧市町村に設置できる（経過措置的に設置）
区 域	必要な地域とする	旧市町村単位とする
団 体 の 性 格	法人格を持たない	法人格を持つ
法 的 対 応	対象区域や事務の範囲など基本的な事項は、市町村の条例で定める	合併協議会の場において、合併協定に定める
設 置 手 続 き	（明記なし）	都道府県が認可などを行う
機 能	市町村の一部として仕事を受け持ったり、住民の意向を反映させる	法令により義務付けられていない市町村事務のうち、地域自治組織の区域にかかる共同的な事務で合併協定に定めるものを処理する
財 源	（明記なし）	市町村から財源を移転する
権 限	（明記なし）	予算などの決定権を持つ。課税権と地方債の発行権限は持たず、地方交付税の交付対象団体にもならない
組 織 構 成	長と議会に代わる「長」、「地域協議会」を置き、事務所を設ける 「長」、「地域協議会」構成員は、市長村長が選任する。構成員は原則として無報酬	「長」、「地域協議会」構成員の選出方法は合併協定に定める。構成員は原則無報酬。事務局の職員は、市町村からの派遣又は兼務を原則とし、必要な場合には臨時職員を採用できる
地 域 協 議 会（仮称）	地域自治組織の区域にかかる市町村事務に関し、「長」の諮問に応じて、審議・意見の申し立てなどができる	地域自治組織の予算などを決めるほか、市町村その他の機関に意見の申し立てなどができる



「ご存知ですか介護保険」 健康な生活を送るには



こんにちは。健康シエンです。

外には、まだまだ雪が残っています。でも、だんだんと暖かくなってきましたね。

風邪気味だった僕もようやくすっきりと治りました。いったん風邪をひくと長引きますね。

今、あらためて健康のありがたさを感じています。

そうですね。普段はあまり気が付かないのですが、風邪をひいたり、怪我をしたりすると、健康のありがたさや大切さを身

にしみて感じるものです。

僕は、毎日の生活の中で体を自由に動かし、寝たり起きたり歩いたり、当たり前のように過ごしているんだけど、きつとそうだったことでさえ思うようになった。困っている方も大勢いるんだろな。

そうですね。例えば川西町で要介護認定を受けている人は、平成十六年一月末現在で、三十四人もいます。これほどの人が介護を必要としているのです。

一か月当りの介護サービス利用額は、在宅サービスと施設サービスと併せて、約四千万円もの高額に上っています。

このうち利用者の本人の負担額は、一割です。町が支払っている分は、月約三千六百万円ほどになります。

これだけの高額なサービス利用料は、四十歳以上のおみなさんからの保険料により支えられています。大切に使いたいですね。

うーん。今まで健康について考えたこともなかったけど、本当にありがたいことなんだね。

健康に気を付けることは、自分にとってはもちろん、保険料を支払っているみなさんのため

にもなるんだね。そんなことに今頃気づくなんて…恥ずかしい。

いつまでも健康でいたいよ。でもどついたらいいんだろ。う…。

健康についてこんなことが言われています。

男性は血管系が弱まりやすい。特に脳や心臓の血管が加齢とともに弱まり、病気を引き起こす。脳や心臓は、命に直結する重要な器官ですので、女性よりも平均寿命が短いのは、このためではないかという研究者もいます。

女性ホルモンは血管を丈夫にする作用があると言われてます。このため女性は男性ほど血管系の病気になる人が多くはありません。

逆に女性は、男性に比べ筋骨格系が弱まりやすく、加齢により自由な運動が困難になる人が多いようです。このため寝たきりになり、介護が必要になります。

ふーん。でもそれと健康でいる方法とどう関係があるの？

つまり、男性は中年期から血管系の病気に気を付ける。血圧やコレステロールについて感心

をもつこと。

女性は、筋力をつけることと骨を丈夫にすること。

なるほど。そうすれば高齢になっても元気で過ごせそうだね。

もちろん女性も男性も体を鍛えることは必要です。栄養面など十分に気を使い、血圧測定や健康診断など定期的に自分の体をチェックすることが大切です。

きっと体が元気になれば、心も明るく元気になるんじゃないかな。

その通り！体が元気になれば、ご飯がおいしくなる、外に出たくなる、歩きたくなる、気分がスッキリする。こういった好循環で、心も体も健康になっていきます。

あつそうか！介護保険を必要とする人が少なくなれば、介護保険財政も助かるのか！

そうですね。健康な人が増えれば介護保険だけでなく、国保などの医療分野の保険も助かります。

高齢になっても、介護保険を利用しないで生活できれば幸せですね。

でも、もし万が一介護が必要になった場合は、遠慮せずに役場けんこう支援課介護保険係、または在宅介護支援センター（☎68-4565）にご相談ください。

みなさんの安心のため、笑顔のために介護保険制度は運営されています。

全十二回にわたって、介護保険についてみなさんと一緒に学んできました。いかがでしたでしょうか。健康でありたいということは、みなさんの共通の願いです。

毎日元気に笑顔で暮らすため、家族や仲間と健康や介護について話合ってみてね。

春うらら

笑顔咲きます

かいごほけん

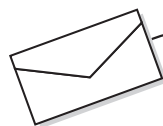
健康シエン

一年間ありがとうございました。

●問い合わせ

けんこう支援課介護保険係
☎68-4957

お寄せください あなたの 意見・提案・質問



「安全でおいしいものを」という消費者ニーズにも応えるのも産地の努めです

コシヒカリ産地の川西町を「魚沼米特区」として、申請できないか。

〈魚沼全体で考えています〉

町では、皆さんのご意見やご提案をまちづくりを生かしていきたいと、「まちづくりについての提言や意見」をいただいています。これまでに届いたものの中から、紙面で紹介する必要があるものを、内容を抜粋してご紹介します。

合併前に 「魚沼米特区」申請を

Q. 合併前の最後の事業として、魚沼米産地の中でも高品質

A. 平成十四年度に「構造改革特別区域法」が成立しました。この特区制度は、限定した特定地域で規制緩和を行い、経済の活性化を図るのが狙いです。中でも農業関係特区には、次の項目が盛り込まれています。

- ・ 民間企業等の農業参入
- ・ 市民農園開設者の拡大
- ・ 保安林の解除要件緩和
- ・ グリーンツーリズムの展開

そのため、消防法などの特例以上のことから考えると、結論から申し上げて大変難しいと思うより、不可能な状況かと思われまます。川西米全体の生産量

(約六五、〇〇〇俵)程度では、量的に少なく別上場は難しいことや、十日町地域の農協合併の中で川西町だけ特別扱いはいきないことからです。

農協では魚沼全体を考えて魚沼ブランドの底上げを目指し、統一ブランドを推進中です。このことから、町では今後の状況推移を見守っていききたいと思っています。

農道幹線の取締強化 化と出会い系イベント の開催を

(76歳・男性)

Q. ①農道幹線(新町新田「稲葉」で車がスピードを出して困る。取締りができないか。また、農道であることの看板や交通規制の道路標識を設置できないか。

②以前、未婚者を対象にしたイベントでカップルが誕生したように、未婚の男女の出会いの場、イベント企画を積極的に展開できないか。

〈公安当局に要望します〉

A. ①ご意見のありました道路は、町道東山新町新田線で一級町道に指定されています。この

道路の交通量の多さについては懸念しているところです。

交通取締りは事故の発生状況や道路の構造条件等により実施するもので、構造上、この道路は取締り条件としてあまり良いとはいえない状況です。また、道路標識の設置は公安委員会の許可が必要となります。

現在、町でも交通安全施設等の点検を行っておりますが、ご提案の主旨につきましては早速に警察署へ要望するとともに、町でも交通指導員や交通安全協会と連携しながら、交通安全指導の徹底を図りたいと考えています。

また、道路を通行するドライ

バーも農作業に従事される方も、譲り合いの気持ちを持って通行や作業をしてくださるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

〈今後も出会いの場を設 けます〉

②結婚相談業務につきましては、昭和六十一年度から取り組んでおり、平成十四年十二月には各地区から二人ずつ、八人の方を「結婚相談員」に委嘱しました。(担当：農業委員会)このことは、平成十五年一月の「広報かわにし」でお知らせのとおりです。

男女の出会いの場の提供については、昨年ナカゴ芝生広場でバーベキューを囲みながら、「ナカゴふれあいパーティー」を開催しました。しかし、参加者は男子四人、女子二人と少なく、いささか寂しいものとなりました。

また、平成十一年度から郡市内四市町村の農業委員会、結婚相談員が協力し「縄文の里広域交流ふれあいパーティー」を開催しており、一応の成果も見られます。しかし、



長い直線でスピードが出やすい通称「幹線」

こちらも当町からの参加者が極端に少ないのが残念です。いずれのイベントも全戸配布のチラシや広報紙でPRをしています。結果は前述のとおりです。

さらに平成十五年度は、結婚相談員による地区別の「結婚相談」を四回開催しましたが、相談是一件もありませんでした。

社会的傾向として、結婚に対する価値観の変化から、生涯独身を貫く方が増加しているといわれています。また、「結婚」は、精神的に大変デリケートな問題を含んでいることもあり、内輪に進める傾向にあります。

せめて結婚願望のある人は、積極的に社会参加し、チャレンジすることが大切ではないでしょうか。そのチャンスのない人には、こうした結婚相談員制度もありますので、気楽に相談してほしいと思いますし、秘密は堅く守られます。

今後もイベントを通して、男女の出会いの場を提供してまいりたいと考えています。

フラワーロードは危険でないか

Q. 幹線のフラワーロードはきれいで心とませるが通過交通量が多く、危険な作業となってい

るのではないか。今後の方針はどうか。

〈別な方法を展開します〉

A. フラワーロード事業は、道路の沿線や公共施設に花を植えることにより美しい町並みを形成することを目的に取り組んでいる事業で、道路の主なものとしては町道東山新町新田線（通称幹線）や県道十日町千手線などがあり、いずれも地域の皆さんや組織の皆さんからのご協力をいただきながら植栽や中間管理が行われています。



通行が激しい中での植付作業

特に、道路の路肩部分に植栽するものについては安全な作業スペースが確保された中での取り組みが求められますが、町道東山新町新田線においては大型

車両を含めた通過交通量が多いにもかかわらず、道路の幅員の関係から十分な作業スペースのないまま植栽を続けてまいりました。

こういった事業の取り組みにおいては、景観上のこともありますがまず安全な作業環境にあるかどうかを考えていかなければなりません。

そこで、長年継続してきた場所ではありますが町道東山新町新田線については十分な作業スペースを確保した中での管理作業ができないことから、本年度から花の植栽を行わないこととし、植栽場所となっていた路肩部分の整備（クローバー等の吹付を検討中）のみ行うこととしました。

昭和六十三年から始めた町道東山新町新田線のフラワーロード事業は、年を重ねるとともに地域の花の取り組みを誘発したばかりでなく、家庭にも広く波及するきっかけとなった事業のひとつであると思います。

これからも地域や家庭における花の取り組みがさらに広がって、花をキーワードとしたネットワークが広がり、花とともにそれを育てていく環境作りが進んでいけばありがたいと思います。

ホームアップ 役場 No.34

目指すは全員 エンジニア



見よ、この真剣なまなざし。パソコンに向かう職員が取り組んでいるのは、新しい町のホームページ作り。

各課選りすぐりのエリート？たちが一室に集まって、

それぞれのセクションで取り組んでいる事業やお知らせなどについて、一つひとつホームページに搭載する作業を進めています。

ホームページ作成用のソフトは、ふだんの業務で使っているワープロや表計算のソフトとは違うため、各課の担当職員が専門研修を受けて制作にのぞみました。

新しいホームページは、福祉や教育、各種支援制度など、生活者の立場から検索していただけるよう構成が工夫されています。項目も今までのものより格段に増え、それぞれがリンクしていろいろな情報を引き出せるようになっていきます。

問題は中身ですが、「それは大丈夫、太鼓判！」とある職員は胸を張りますが、「あれ、開かね」「うーん、意味わかるかな」という声もチラホラ。。

悪戦苦闘・試行錯誤を繰り返しながら、ほぼ全職員が関わって作り上げるこのホームページは、木々の新芽と同じころに開きます。

第26回 町民スキー大会

第19回 小学校親善スキー大会



2月1日(日) 中子クロスカントリースキーコース



「ガンバレー!!」の大声援が背中を押します

男子の部

●小学生4年(15 km)

- ① 柳 成彦(千手)
- ② 丸山 秀也(橘)
- ③ 渡辺 一正(千手)
- ④ 星名 太一(千手)
- ⑤ 下沢 佑介(千手)
- ⑥ 高橋健一朗(千手)
- 小学生5年(3 km)
- ① 星名 陽太(千手)
- ② 小林 大樹(千手)
- ③ 羽鳥心之介(千手)
- ④ 和久井冬樹(橘)
- ⑤ 秦野喜三彦(橘)
- ⑥ 関口 優輔(千手)

●小学生6年(3 km)

- ① 丸山 廉太(千手)
- ② 丸山 允央(千手)
- ③ 丸山 文央(千手)
- ④ 中條 貴志(仙田)
- ⑤ 村越裕太郎(橘)
- ⑥ 高橋 大輝(千手)
- 中学生(6 km)
- ① 川崎 茂人(二年)
- ② 稲田 岳(一年)
- ③ 太田 渉(一年)

女子の部

●小学生4年(15 km)

- ① 高橋里香子(橘)
- ② 相馬 由佳(橘)
- ③ 稲田 萌(千手)
- ④ 小山えりな(橘)
- ⑤ 南雲 淳美(仙田)
- ⑥ 片桐 藍(千手)
- 小学生5年(2 km)
- ① 樋口 真央(仙田)
- ② 高橋 りほ(千手)
- ③ 中村亜希子(千手)
- ④ 登坂 美咲(仙田)
- ⑤ 蔵品あやか(千手)
- ⑥ 丸山未彩紀(橘)

●小学生6年(2 km)

- ① 高橋 莉子(上野)
- ② 丸山 夏織(千手)
- ③ 藤巻 彩佳(橘)
- ④ 片桐 知美(千手)
- ⑤ 中村 恵利(千手)
- ⑥ 丸山瑠衣子(上野)

リレーの部

●小学生男子

(2 km×3人)

- ① 千手アトミックス
- 丸山 廉太
- 丸山 文央
- 丸山 允央
- ② ファイトだ上野
- 根津 元
- 富井 淳
- 水品 和也

●小学生女子

(15 km×3人)

- ① それ行け上野
- 高橋 莉子
- 田村 鈴香
- 丸山瑠衣子
- ② 千手プライド
- 丸山 夏織
- 片桐 知美
- 中村 恵利
- ③ 仙田風林火山2
- 押木 雄太
- 中條 将志
- 中條 貴志

●中学生男女混成

(3 km×3人)

- ① 橘小学校6年女子
- 田口 詩織
- 村越 真弓
- 藤巻 彩佳
- ② 川西中A
- 太田 渉
- 田口 清貴
- 太田 渉
- ③ 川西中B
- 川崎 茂人
- 稲田 岳
- 川崎 茂人



ゴールまであと少し、最後の力をふりしぼって走りました

昔の田戸村

今から五〇年ほど前には、仙田村の田戸といえは知らない人がいないくらい評判のムラであった。

明治三十四年に、中魚沼・刈羽郡を結ぶ重要路線として、県道岡野町線が開通すると、人・馬・車の往き来が絶え間のないように続いた。

上野から松葉沢沿いに登っていき、「若の窪」峠から仙田村になり、峠から約一・五キロで田戸に着く。さらに、右側は切り立った崖で、左側は肝が冷えるような深い沢を見ながら道を下っていくこと二キロで中仙田に入る。

現在の国道二五二号越ヶ沢トンネルの真上に当たる、村境の若の窪地名などは、今ごろになつて何人が知っていることだろう。

「田戸」という呼び名は、田を開いた場所という意味から付けられたものであろう。集落の周りは畑が多く、南側の深い沢が最初に作られた田であらう。若の窪から下りていく両側の水田は、ずっと後世になってから開発された。

節黒城の上野氏と千手城の下平氏が、何年も続けて激しい土地争いをしたことがある。天文

二十三年（一五五四）の古文書に、「上田堵」の地名が書かれている。

下平氏の手勢がこっそりと上田堵に回って陣を張ったということが分かり、上野氏がカンカンに怒っている様子が手紙に書かれているが、この田堵が今の田戸のことであらうと考えられる。

正保二年（一六四五）の越後絵図に、「田戸村百十八石余」とある。仙田郷一四か村の中では、群を抜く多い石高である。この一四か村の中に、越ヶ沢村

押木家は、もと上野村の元町から田戸に入ってきた家柄だと伝えられるが、室島の増田家に次ぐ仙田郷切つての大地主であり、押木良平は十三年に県会議員にもなっている。

そのころの田戸は、仙田村の玄関口であるといわれ、押木家の力が大きかったことも関係してか、八年に仙田郵便局、九年二月には仙田校の田戸分校、十六年には十日町警察署仙田駐在所などが次々と設置されて、一躍仙田村の中心的な地位を占めた。

おらむらの話

上野 上村政基

（第三十五回）

の名が見えないので、あるいは二か村を合わせた数字であるかもしれない。

天和三年（一六八三）検地帳では「高七十六石余」で、元禄七年（一六九四）改村鑑には一九軒・一一八人・馬七匹と記載されている。

田戸は村行政の中心

魚沼地方が柏崎県であった明治六年に、田戸の押木良平が仙田村全体の戸長（のちの村長）に任命され、戸長役場が開設された。



上田戸の中心部

二十五年に独立校となった田戸校は、「越後仙田の田戸村学校四面ぐるりがみなガラス」と歌われるくらいに整った校舎だった。



下田戸にある十二社と杉木立

しかし、それほど進んだ田戸であったのに、不思議と電気を通ずることは遅れた。

仙田村一円は、松代電気合資会社からの送電で大正末年までに各集落に電灯がついたが、田戸・越ヶ沢だけは遅くなり、昭和十二、三年ごろから工事が始まり、全戸に行き届いたのは昭和二十年ごろになってからのことであった。

ムラの消長

ムラ開発の草分けは勘藏家（高橋氏）で、室島から入ってきたというが、本家はすでに転出している。それに次ぐのが青木・押木氏であったと伝える。

室島・元町・中仙田・越ヶ沢・上野などから移ってきて、それぞれの一族マキを構成して発展した。

明治四十三年の記録には、五八戸・三五五人とある。県道沿いをウワタド（上田戸）と呼び、

一段下がった鎮守様の周りをシタタド（下田戸）と呼んでいた。最初のムラづくりはシタタドの位置であり、沢に田んぼを開いたものであろう。沢沿いに中仙田へ下りていく古い道があり、石仏が二基立てられていた。

大百姓の青木家では、沢で働いている作男たちに昼食を知らせるため、十一時にハンを打って合図にしていた。ムラの人たちもそれを聞いて、「昼飯のハンが鳴ったぞー」と仕事の区切りをしていた。

ハン（板）は、玄圃梨の木で作った厚板で、木槌で打つと乾いた高い音がするので、昔は非常用の合図や、ムラの集会時刻などを知らせるのに使っていた。ケヤキで作ったハンもあるが、割れやすい欠点があった。

越ヶ沢に新しい国道が完成すると、田戸を通る旧県道は傍道のようになってしまう、今では二〇戸を割ってしまった。

山形もがみ国体で川西勢が大健闘！

片桐健太・片桐康太選手バイアスロンリレー第一位
星名知彦選手スペシャルジャンプ第五位

左から山崎さん、片桐健太・康太の各選手

二月二十一日から二十四日にかけて山形市などで開催された「第五九回国民体育大会冬季大会スキー競技会」で、川西町出身の選手が大活躍しました。

バイアスロン（公開競技）のリレー（一般銃）では新潟県チームが優勝し、チーム（三人編成）の中に、川西町（発電所通西）出身の片桐健太・片桐康太選手（24・陸上自衛隊第二普通科連隊所属／二人とも）が兄弟で一走・二走として出場し、優



個人部門でも優勝した片桐康太選手の立射（右から2人目）

勝の原動力となる大活躍をしました。また、この競技の個人成績でも、片桐康太選手が優勝という快挙を成し遂げました。さらに、両選手を支えるワックスマンとして活躍したのも、寺ヶ崎出身の山崎徹さん（19・同）で、川西勢が新潟県チームの優勝を導いたといつて間違いのないでしょう。

二〇〇九年（平成二十一年）二月に開催予定の新潟国体冬季大会のバイアスロン競技会場が、当町内に設けられることが予定されていることから、この国体開催に弾みがつくとともに、これからも地元出身の選手として、二人の活躍が期待されます。



強風の中、華麗なジャンプを決める星名選手

一方、選手としての国体出場が通算九回目となる沖立の星名知彦選手（37・川西町役場）は、スペシャルジャンプ（成年男子C）に出場し、見事五位入賞を果たしました。

星名選手が出場した成年男子Cは、一九九八年に開催された長野オリンピックジャンプ団体金メダリストの原田雅彦選手が優勝しました。こうした世界トップの選手と競り合つての五位入賞は、とりわけ価値が高いものといえるでしょう。



掘り出し物あったかな 古本市

「古本市」が総合センターで開催されています。幼児の絵本、小説、百科事典など公民館図書として長い間親しまれてきた約 1,000 冊の図書が、無償で一人何冊でももらえるとあって、初日の2月13日には大勢の人だかりができました。

「これ、欲しかったんだ」とお目当ての本を手にした人がいる一方、「みんな欲しいけど、保管場所を考えるとなかなか難しいですね」と部屋を出る人もいました。

この古本市は、3月12日（金）までです。残り物には福がある、かもしれませんよ。



いい本あるかな

だんだんどーも！ ③1

ホームページコンテストで「最優秀賞」の巻

今度は「違うテーマでやって、もつと上の賞を取りたい」「最高賞！」。

これが、昨年四月号の本欄で紹介した上野小学校（杉中宏校長）六年生（担任大関正人先生）の声です。

そのときは奨励賞でしたが、今回、全県から二二校が応募した「第三回BSN小中学校ホームページコンテスト」

（小学校の部）で、昨年の目標どおり、見事最優秀賞に輝きました。



めでたかったです。

誕生ケーキから入っていくというユニークなトップページから始まって、「歴史コーナー」「じまんコーナー」に、一四人全員が体験したり調べたことを音声も交えてわかりやすくまとめたことが、「思いが伝わってくる」「大人が見てもおもしろい」と、審査で高く評価されました。

「今年ではきばき作ることができた」「去年の経験が生きた」「上野の特徴を出すことができた」「とりたい賞がとれた」と、みんなの声も弾みます。

春には中学生になる一四人は今、「卒業記念CD」を「絶好調！」で制作中です。

なお、コンテストの内容及び受賞作品は、次のアドレスで見ることが出来ます。
<http://www.obhsn.com/hpc/index.html>



⑭

川西町 体育協会

協会加盟団体の紹介

【川西町スキー協会】

快晴の天候にも恵まれ選手二百三十五人、応援の皆さん、競技役員、川西中ボランティアなどのご協力を得て、二月一日に町のクロスカントリースキー大会が開催されました。この大会の結果により五・六年生の中から選手を決定し、川西町代表として、二月二十九日に小千谷市白山運動公園で、中越地区学童親善クロスカントリースキー大会に出場してきました。

選手は次の二十一人です。

《千手小六年》丸山廉太、丸山允央、丸山文央、高橋大輝、丸山夏織、片桐知美、中村恵利、《五年》星名陽太、小林大樹、羽鳥心之介、関口優輔、高橋りほ、中村亜希子、蔵品あやか、《上野小六年》高橋莉子、《橋小六年》藤巻

彩佳、《五年》和久井冬樹、秦野喜三彦、《仙田小六年》中條貴志、《五年》樋口真央、登坂美咲。

選手の皆さんは二月中も練習を重ねてきました。大会では、中越地区の強豪に肩を並べるとまで

はいきませんが、一生懸命スキーで滑る姿は、苦しんでいるようにも見えます。この中からスキーを続けてインターハイや地元新潟国体で活躍する選手が育ってくれば大変うれしい事だと思えます。

毎年、町の大会での成年の出場が少ないので、もつと大勢参加してもらえようにしたいと考えています。やはり冬は外で寒気にあたり、雪を利用しながら体

を鍛えて風邪にも負けない健康になるよう、スキーをしてはいかがでしょう。中子では土日曜にクロカンスキー教室を行っています。コースが整備してありますので、スキーで歩いてみてください。晴れた日などとても気持ちがいいものです。

●お問合せ先 川西町教育委員会内 川西町体育協会事務局（☎68-2167）



催し

健康づくり講演会のお知らせ

プールを使った

寝たきり・ボケ予防」

～川西プールは

こつやつて使おう～

■期日・会場

・三月十三日（土）

上野コミュニティセンター

・三月二十六日（金）

総合センター

■時間

いずれも午前十時～十二時

■講師 明治学院大学名誉教授

高橋賢一先生

参加費は無料・申し込み不要です。お気軽にお越しください。

■その他 当日は千手温泉隣に建設中の健康プールの説明も予定しています。

■問い合わせ

けんこう支援課健康推進係

☎68-4958

体験交流と楽雪モデル地域についてのワークショップ
アップのお知らせ

十日町地域振興調整会議では

十日町地域振興計画推進のため、体験交流と楽雪モデル地域についてのワークショップを行います。体験交流や雪に興味をお持ちの方の参加をお待ちしています。

【体験交流】

■日時 三月二十二日（月）

午後六時半～九時

【楽雪モデル】

■日時 三月二十三日（火）

午後六時半～九時

■会場 クロス10

■問い合わせ 十日町地域振興

事務所 地域振興課

☎57-5517

「雪割草まつり」開催

～雪国に春を告げる雪割り

草の可憐な彩り～

■日時 三月十三日（土）

十四日（日）

午前九時半～午後四時半

（十四日は午後三時半まで）

■会場 越後丘陵公園

■問い合わせ

国営越後丘陵公園

長岡市宮本東方町一九二一

☎0258-47-8001

募集

平成十六年度水中運動教室参加者募集のお知らせ



新規参加希望者を募集します。

教室開催期間は四月～六月です。

■会場 十日町市ベルナティオ

■募集教室 木曜・金曜教室

（いずれも午後二時～三時）

■募集人数 各教室一〇人程度

（希望者多数の場合は抽選）

■参加費 三千元・保険料千五百円（施設使用料が別途一回八百円必要です）

■申込方法 申込用紙に必要事項を記入し提出。電話不可。

（申込用紙はけんこう支援課に用意してあります）

■申込締切 三月二十五日（木）

■その他 現在、町内に建設中のプールでの教室申込は四月以降となりますので、お間違えのないようにお願いします。

■申し込み・問い合わせ

けんこう支援課健康推進係

☎68-4958

その他

平成十六年度固定資産
縦覧期間のお知らせ

■期間 四月一日（木）から

三十日（金）まで

■場所 税務課固定資産税係

⑤番窓口

■手数料 無料

平成十五年度の税制改正により、自己所有以外の土地・家屋についても評価額等を期間中に土地価額等縦覧帳簿、家屋価額等縦覧帳簿で縦覧できるようにしました。（所有者の個人情報報は記載されていません）

縦覧できる方は、自己所有の土地又は家屋が川西町に有り、固定資産税を川西町に納付している納税義務者に限ります。

これらは納税者のみなさんから、自分の資産の評価が適正かどうか比較してもらうためです。

縦覧制度の改正により固定資産課税台帳の閲覧制度も変わりました

平成十五年度から一年を通じて固定資産課税台帳を見ることができるようになりました。

手数料は、一件三〇〇円（縦覧期間中は無料）です。ただし、課税台帳のコピーを希望される方は、一件三〇〇円の手数をいただきます。

* 閲覧できる人、閲覧できる範囲は次のとおりです。

閲覧できる人	閲覧できる範囲
1 固定資産税の納税義務者	本人名義の固定資産
2 土地を借りている人（地代が支払われるものに限る）	借りている土地のみ
3 家屋を借りている人（家賃が支払われるものに限る）	借りている家屋およびその敷地である土地のみ
4 固定資産の処分をする権利を有する人	該当する固定資産

* 閲覧申請の際には、納税義務者であるかの確認、土地や家屋を借りている方については、所有者との賃貸契約書、地代、家賃の領収書等の関係書類を確認させていただきますので忘れずにお持ちください。

■問い合わせ

税務課固定資産税係

☎68-4960

四月から消費税の総額表示方式がスタートします

現在主流の「税抜価格表示」では、消費者がレジで請求されるまで最終的にいくら支払えばいいのかわかりにくいことや、同一の商品やサービスでありながら「税抜価格表示」と「税込価格表示」が混在しているため価格の比較がしづらいといった状況を解消するために、消費税法の改正により四月からお店やスーパーの値札や広告などの価格の表示が、消費税額を含めた支払総額の表示に変わります。

■問い合わせ

十日町税務署
☎ 52-3181

国保診療所・臨時休診のお知らせ

国保診療所では、都合により3月25日（木）を臨時休診とさせていただきます。

「無料」といつ誘い文句に注意!!

〜あとで高額な請求が…〜



新潟県消費サービスセンターには、「無料商法」の被害にあったという相談が多く寄せられています。

無料商法とは、「無料」をうたい文句に消費者を勧誘し、実際には高額な商品やサービスを契約させる商法です。例えば若者を狙ってエステティックサービスの契約や、携帯電話による情報料の請求、また訪問販売などです。

被害にあわないために、何が「無料」なのか十分に確認し、必要のないものはハッキリと断りましょう。

■問い合わせ

新潟県消費生活センター
☎ 025-285-4196

平成十六年度米の生産目標数量等を配分

平成十六年度の生産目標数量等が二月五日に各集落へ配分されました。

生産目標数量は五・一パーセント増

生産調整率は七パーセント減

平成十四年十二月に決定された「米政策改革大綱」に基づき、国においては需要量に見合った生産をする観点から、平成十六年度からの米の生産調整の配分手法を、従来の「生産調整目標面積の配分」から「米の生産目標数量の配分」に転換を図り、川西町においては、県から四一・六五・八九トンが配分され、昨年比五・一パーセントの増となりました。

また、各集落には生産目標数量とそれを基にした生産目標面積及び生産調整目標面積をあわせて配分しており、生産調整率では二二・二パーセントとなり昨年比およそ七パーセントの減となっています。

平成十六年度からスタートする「米政策改革」では、需要に即した米づくりを基本に

水田農業の安定と発展を図ることとし、平成二十二年度までに農業者・農業者団体が需要や価格動向と自らの販売力から主体的に判断して売れる量だけ生産するなど、「米づくりの本来あるべき姿」の実現を目指すとしています。

国の政策を受け、町でも米と米以外の作物を組み合わせた水田農業の将来の姿を描いた「地域水田農業ビジョン」を策定していきますが、平成十六年度から米の需給調整に係る助成措置である「とも補償」が「産地づくり交付金」に変わるなど様々な制度変更が行なわれます。



このような中で、農家と生産組織等が一体となったまとまりのある生産体系を推進し、農業経営の体質強化を図る必要があります。

国・町支援策を活用しての全集落の目標達成をお願いします。

所得確保に町も支援します

町では平成十二年度から推進している大豆、そば等の団地・集団での栽培を軸に、米以外の作物からの収益と国の助成金とを合わせて、米に代わる所得の確保を推進しています。

また、転作田における園芸作物栽培への支援や、「地産地消支援事業」も用意していますので、これらを有効に結び付けて転作田からの収益向上を図っていただきたいと思っています。

しかし、国の助成金などの有利な支援を受けるには、集落における目標の確実な達成が必須になります。各集落においては、目標達成に向けて積極的な推進をお願いします。

■問い合わせ

農林振興課振興係
☎ 68-4954

川西高校では例年、三学期の体育の授業としてスキー授業を実施しています。今回はそのスキー授業の様子と生徒の感想を掲載します。

(2年生の感想文)

今年は何年にも比べて雪が降るのが遅かったためスキー授業が実施できるかどうか心配でしたが、二月からは予定通りスキー授業が始まりました。今年度も山本山高原スキー場で授業を行っています。週に一度、スキー



授業のある日は午前中に三限まで普通授業をして、その後バスに乗りスキー場へ向かいます。スキー場に到着して、はじめに準備体操をやってから始めます。スキーはスキー場から借りることもできます。

川西高校のスキー授業は、コースや内容を生徒に合わせ人数を分けて先生がそれぞれ指導してくれます。わかりやすく指導してくれるので、授業中なのに楽しく滑ることができました。最初、怖いと思って滑っていた急な坂もやっていると自然と体で覚えて気持ちよく滑れるようになります。こうなるととても楽しく感じます。そして晴れた日は本当に気持ちよく滑ることが出来ます。さらに今年度は、三月には上越国際当間スキー場でもスキーをすることになっています。学校のスキー授業を通して、さらなるスキーの上達を目指し、頑張りたいと思います。

人生を楽しむ必須アイテム

「あなたの夢は何ですか？」「そう聞かれて何と答えますか？」

家族円満に過ごす、仕事で成功する、海外旅行に行くなど、人それぞれいろいろな夢があるでしょう。そして、それらを実現させるために必要なものは何でしょう？

それにはまず「健康」があるでしょう。人生を充実させ、生きがいのある毎を送るために、「健康」はなくてはならない大切なアイテムです。

健康に関しては、高齢になるほど大切さを感じる方が増えるようです。反対に若い方は、体力もあり元気な方が多いので、大切さを比較的に感じにくいようです。

しかし、最近二〇〜三〇歳代で貧血や低コレステロール血症、肝機能障害などの方が目立ってきています。そして、四〇〜五〇歳

代では、高血圧や高脂血症など様々な症状が始まる方が増えてきています。これらは自覚症状があまりないものも少なくありません。

若い頃からの健康管理が、年をとってから健康に直結していきます。どの年代においても、「自分の体の状態や変化を知っておくこと」、つまり「客観的なデータを把握し、健康管理をしていくこと」が大切です。そして、将来の大きな病気を引き起こさないためにも、検診は重要な意味があります。

年に一度は、住民検診、各種検診、人間ドック、職場検診などで自分自身の体の総点検をしていきましょう。

町では厄年・還暦対象の方には無料受診券も郵送していますので、ご利用ください。

町の各種検診について

胃がん検診：バリウムは以前より飲みやすくなりました。

肺がん検診：痰を採る検査です。胃・肺がん検診は住民検診と同日実施です。

子宮・乳がん検診：婦人科検診と一緒に受けられます。

大腸がん検診：検便のみの簡単な検査です。

検診申込書が各世帯に配られました。申込みは随時受け付けていますので、希望者は下記までご連絡ください。

けんこう支援課健康推進係
68-4958 (直通)



休日救急医

3月20日 大熊内科医院
(十日町市山本町1)
☎ 52-7066

21日 大坪医院
(十日町市四日町新田)
☎ 57-6100

28日 山口医院
(十日町市下条中央)
☎ 55-2003

4月4日 小林内科医院
(十日町市中条中町)
☎ 52-7155

〃 津南病院
(津南町大割野)
☎ 65-3161

11日 たかき医院
(十日町市土市第5)
☎ 58-2361

■表紙の写真

山形もがみ国体で大活躍した川西町出身の選手たちです。

柄沢健太(ゼッケン 1-1)・康太(ゼッケン 1-2)兄弟はバイアスロンリレーで優勝、星名知彦選手(写真下)はスペシャルジャンプ第五位と大健闘しました。

2009年の冬の国体バイアスロン会場となる当町にとって、この上ない成果です。

? 町勢要覧クイズです?

「2003 町勢要覧」に記載されている内容を中心にクイズを出します。

くかつて「千手市は桃買い、上野は〇の市」といわれました。〇とは? >

ヒント: 全戸配布した町勢要覧をよく読んでください。

おわかりの方は、はがきに「解答」「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、〒948-0192 川西町役場総務課文書広報係までご応募ください。

正解の方に(多数の場合抽選で)ステキなプレゼントをいたします。

●締め切り… 3月24日(金)

< 2月号の答え >

「白河藩」または「桑名藩」

今回は正解者の中から、抽選で次の方々に記念品をプレゼントします。(敬称略)

佐藤信一(小脇)、羽鳥としえ(伊友)、上村源司(下平新田)

善意

(敬称略)

福祉に

根津 精一郎(上野) 一〇万円

藤田 充 喜紀 根深
太田 奨 唯 義和 田中町

(2月1日~29日届け出順)

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

上原 忠二 70(本人) 中島町
相馬 周蔵 96(敏夫) 木落
根津 富士松 93(精一郎) 上野
喜多 ミネ 87(清) 中島町
押木 ヨシヲ 92(本人) あかね園
藤巻 三郎 75(本人) 塩辛
羽鳥 昇二 75(賢太郎) 木落

うぶ声—おすこやかに

星名 千颯 貴宏 伊友
上村 大智 美智子 上野



かわい俳壇

高崎正風選

もう少し生きてをりたし寒の水
去年今年どれもわからぬ歌ばかり
深雪道のけぞり合いて行き交へる
天窓に神璽のごとき牡丹雪
雪残る寺領庫裡への道一つ
庄屋てふ屋敷跡とや草萌ゆる
すて置けの御意や寺領の残る雪
風雪に堪え大櫓立ちてをり
冬帽子阿弥陀かぶりに春めける
春めくや歩け歩けと医師の指示
ざくと切る雪下大根みずみずし

練馬区 須藤 遊人

水口沢 高橋 願似

新町新田 若山 向山

風花の行方は気まま風のまま
寒き朝タイヤが路面掴む音

小白倉 田中 優美

白梅の香に澄む朝の心かな
一杯の水の旨さや寒に入る
春日の障子を開けて針仕事

元町 田畑 吉治

感動の余韻ほのぼの雪花火
初旅や東京ドームの陶器展

霜条 星名 星光

生き生きと太る蕾も春近し
孫に会う雛の祭りに招かれて

山野田 中條 石平

日本晴れ咲きほこるかに梅の花
日本晴れつつらおどろく雫かな

室島 高野 チヨ

北風に鉄塔高く耐えて立つ
バス来しと生徒駆け行く雪の中

野口 高橋 波京

枝折れの桜を活けて春を待つ
春待たず根ぐされさせて桜草

霜条 蔵品 ハツエ

春めくや心を癒す家族愛
青春のロマン夢見て寒に耐ゆ

田中町 石沢 澄代

とび散りし軒の雀も春めける
鉢植えの花散る苺二つ三つ

足立区 涌井ハル子

ほろ苦き春の味なる菜花買う
千年の湯楽しむ余生日脚伸ぶ

岩瀬 登坂伊智子

チャボの寒卵が二つ藁の上
きさらぎの晴天続く梅の花

八王子市 松浦 サク

残業の子の帰り来し春の雷
山は笑い人らは集い嫁迎う

野口 村越 由喜

春告げる猫柳の芽萌ゆを見し
板の間の冷え足うらに春寒し

高原田 須藤 キミ

窓越しに鳥飛びゆけり冬の暮れ
少しづつ冬去るらしく日脚伸ぶ

野口 村越 こう

風邪引くな引くなと言って受話器置く
寒の月湖上にありし宿りかな

中屋敷 金子 鉄平

春立ちてより寒梅の咲きにけり
立春となりしに今朝の深雪かな

小白倉 江口みゆき



「うみの なかまたち」
2年生 江口 美奈



「うちゅうじん だいしゅうごう」
1年生 藤田 健也



「大きな雪ダルマを作ったよ」
4年生 高橋 里香子



「初めて食べた たいやき」
3年生 高橋 哲郎



▶「雪まつりのダンス甲子園」
6年生 野沢 みずき

(4月号は仙田小学校です)



「稲刈り」
5年生 丸山 友浩

● 5000年

社殿前にそびえ立つ二本の大杉。町指定天然記念物「田戸十二社の二本スギ」だ。二本とも目通り周囲四・五メートル、高さは四〇メートルを数える。

川西町の巨木としては赤谷の大ケヤキが有名だが、杉の巨木も、ここ田戸のもののほか藤沢熊野神社の二本杉、元町諏訪神社の親子杉が町の指定を受けている。いずれも神社の境内にあるもので、周囲の環境と相まって独特の森厳な空間を形づくっている。



圧倒的にすごい生命力の下に立つと、ことばの説明がいらないう感動に浸ることができる。雪が消えたら、ふだんあまり人が訪れることがないこうした巨木をまわってみよう。と、あれこれ気をめぐらすのも、この時期の楽しみだ。

㊦

